



## 月次運用レポート

# フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券



2021年11月

設定日：2017年11月24日

信託期間：2017年11月24日から2027年5月24日まで

決算日：原則として毎月22日（休業日の場合は翌営業日）

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当ファンドの  
紹介ページは  
こちらから



### ■ 基準価額・純資産総額の推移

	2021/10/29	2021/9/30
基準価額	10,800 円	10,801 円
純資産総額	1.1 億円	1.1 億円
累積投資額	11,484 円	11,443 円

直近分配金	40 円
設定来分配金合計	640 円

※分配の推移は次ページにて掲載

基準価額 (月中)	高値	10,834 円	(10月21日)
	安値	10,765 円	(10月13日)
基準価額 (設定来)	高値	10,902 円	(2021年9月16日)
	安値	7,957 円	(2020年3月24日)
累積投資額 (設定来)	高値	11,507 円	(2021年9月16日)
	安値	7,957 円	(2020年3月24日)
ヘッジ比率		100.0%	(2021年10月29日)

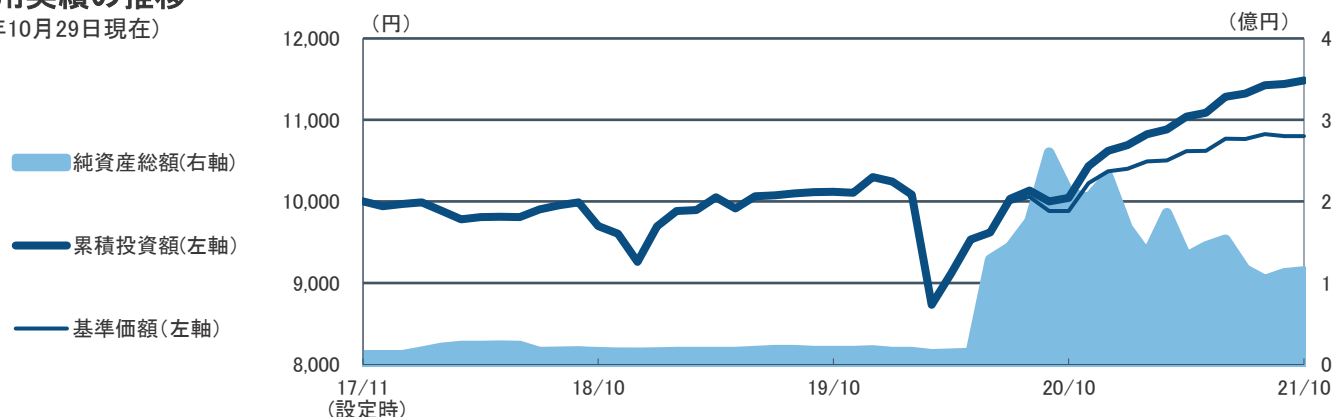
### ■ 累積リターン

(2021年10月29日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.36%	1.43%	4.01%	14.35%	18.43%	14.84%

### ■ 運用実績の推移

(2021年10月29日現在)



※基準価額は、運用管理費用(後述の「運用管理費用(信託報酬)」参照)控除後のものです。

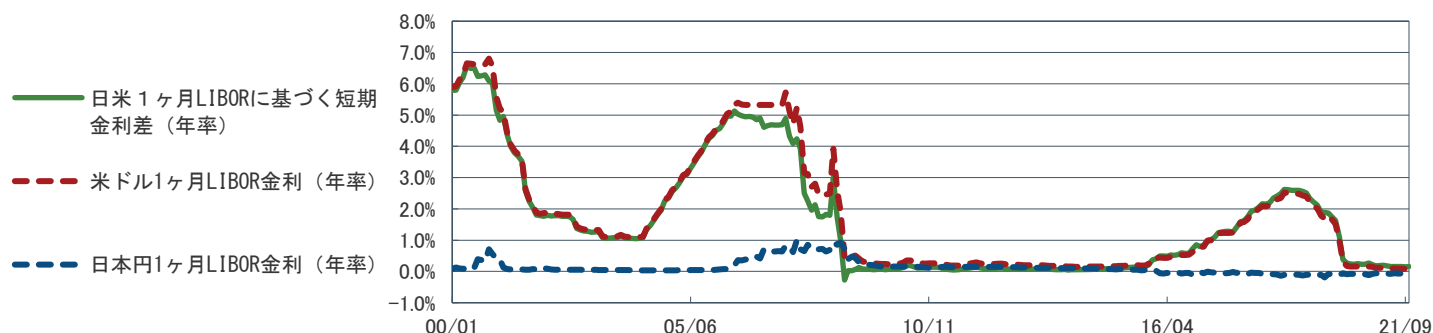
※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

### ■ (ご参考) 日米短期金利差の推移

(2021年10月29日現在)



※ブルームバーグをもとにフィデリティ投信が作成しています。期間は2000年1月から当資料作成時点までです。短期金利差は、米ドル1ヶ月LIBOR金利(年率)から日本円1ヶ月LIBOR金利(年率)を引いて算出しています。当データは、ファンドの実際の為替ヘッジコスト(もしくはプレミアム)を示したのではなく、入手可能な市場データを使って理論的な為替ヘッジコスト(もしくはプレミアム)を示したご参考データです。



## 月次運用レポート

# フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券



2021年11月

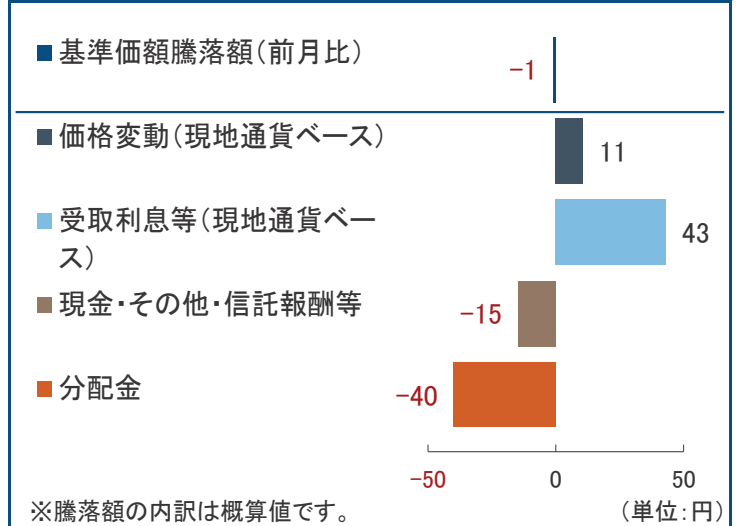
### ■ 分配の推移(1万口当たり／税引前)

(2021年10月29日現在)

決算期	日付	分配金
第1～31期	17年12月～20年6月	0円
第32～46期	20年7月～21年9月	40円
第47期	2021年10月22日	40円
直近1年計	20年11月～21年10月	480円
設定来累計		640円

### ■ 基準価額の月間騰落額の内訳

(2021年10月29日現在)



※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。  
 ※基準価額の月間騰落額の内訳は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。

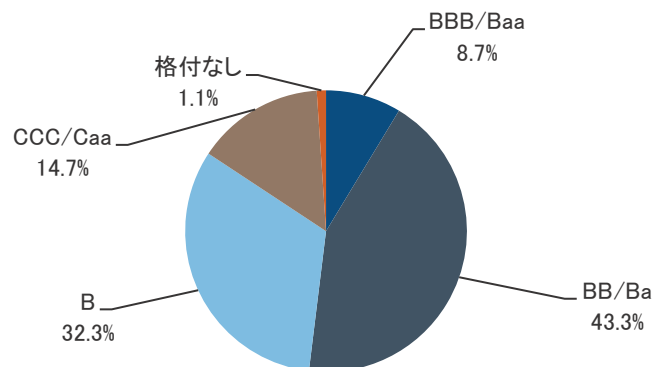
### ■ ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

#### ◆ 資産別組入状況

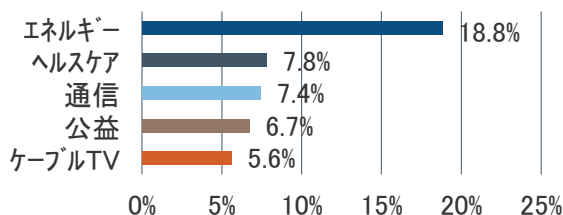
債券等	89.9%
転換社債	0.9%
株式	6.1%
新株予約権証券(ワラント)	0.3%
現金・その他	2.9%

#### ◆ 格付別組入状況

(2021年9月30日現在)



#### ◆ 組入上位5業種



#### ◆ ポートフォリオの特性値

	2021/9/30	2021/8/31
最終利回り	5.2%	5.1%
直接利回り	5.7%	5.7%
修正デュレーション	3.5	3.4
平均格付	B	B

(資産別組入状況は対純資産総額比率、格付別組入状況は対投資債券比率、組入上位5業種は対投資資産比率)

※債券等には、金銭債権が含まれます。  
 ※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。  
 ※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(表示方法は「プラス/マイナス」の符号を省略し、S&P社/ムーディーズ社を表記しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。  
 ※業種は原則としてICE BofAの分類によります。一部弊社の判断で分類しているものが含まれます。(注)2021年5月31日現在より業種分類を変更しています。  
 ※ポートフォリオの特性値は、計算日時点の参考値であり、将来の利回りや運用成果を保証するものではありません。  
 ※最終利回り、直接利回りは、債券等と転換社債の部分、修正デュレーションは債券等の部分で算出しております。  
 ※平均格付は、基準日時点においてファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。



## 月次運用レポート

**フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド**  
 (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券



2021年11月

## ◆組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 620)

(2021年9月30日現在)

	銘柄	クーポン	償還日	業種	格付	比率	会社概要
1	スプリント・キャピタル・コーポレーション	8.75%	2032/3/15	通信	BB/Ba	1.3%	米国の携帯通信大手。同業米Tモバイルと合併。
2	インタージェン	7%	2023/6/30	公益	B	1.3%	独立系電力会社。発電・開発、天然ガス、石炭などグローバルに事業を展開。
3	アリー	8%	2031/11/1	銀行	BBB/Baa	1.1%	米国の自動車金融サービス会社。
4	EPエナジー	-	-	エネルギー	-	1.0%	米国のエネルギー会社。主にテキサス州、ユタ州において石油、天然ガスの探査、取得、開発、生産等を手掛ける。
5	アリー	8%	2031/11/1	銀行	BBB/Baa	1.0%	米国の自動車金融サービス会社。
6	パシフィック・ガス&エレクトリック	4.95%	2050/7/1	公益	BBB/Baa	0.8%	米国の電力会社。米カリフォルニア州において発電、電力供給、天然ガスの調達・輸送・貯蔵などを手掛ける。
7	パシフィック・ガス&エレクトリック	4.55%	2030/7/1	公益	BBB/Baa	0.8%	米国の電力会社。米カリフォルニア州において発電、電力供給、天然ガスの調達・輸送・貯蔵などを手掛ける。
8	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	5.15%	2049/12/31	銀行	BBB/Baa	0.7%	米国の大手銀行。世界中の企業、金融機関、個人を対象に幅広い金融サービスを提供。投資銀行、リテール銀行、資産運用など各種金融サービス業務を手掛ける。
9	CHS/コミュニティ・ヘルス・システムズ	8%	2026/3/15	ヘルスケア	B	0.7%	米国のヘルスケア・サービス会社。複数の州において、病院の保有や経営を通じ、診断、診療、手術などを行う。
10	カリフォルニア・リソーシズ	-	-	エネルギー	-	0.6%	米国のエネルギー会社。主にカリフォルニア州において、石油・天然ガスの採掘及び生産を行う。

上位10銘柄合計 9.4%

(対純資産総額比率)

※銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

※クーポンは、銘柄属性として発行時に定められたものを表示しております。

※債券以外の銘柄は、クーポン・償還日・格付の属性を表示しておりません。

※2049/12/31は、永久債を表示しております。

※業種は原則としてICE BofAの分類によります。一部弊社の判断で分類しているものが含まれます。(注)2021年5月31日現在より業種分類を変更しています。

※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(表示方法は「プラス/マイナス」の符号を省略し、S&P社/ムーディーズ社を表記しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

※当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の債券等の売買を推奨するものではありません。

※概要は記載時点のものです。今後予告なく変更される可能性があります。また銘柄の売買を推奨、または今後の業績を示唆・保証するものではありません。



## 月次運用レポート

# フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券



2021年11月

## ■コメント

(2021年10月29日現在)

### ◆市場概況

当月の米国ハイ・イールド債券市場において、ICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックスの月間騰落率は-0.20%となりました。米10年国債は-0.12%、米投資適格社債は+0.24%でした。

米国債券市場では、新型コロナの感染状況の改善、物価や今後の金融政策の動向などに注目が集まりました。9月の米雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比19.4万人増と、2カ月連続で予想を下回る結果となりました。また、米国の7-9月期国内総生産(GDP)成長率(速報値)は、個人消費の減速を反映し、前期比年率+2.0%と、成長の鈍化が示されました。しかし、新型コロナの感染状況の改善が進み、物価の高止まりや資産買入縮小の年内着手の観測に加え、ワクチン義務化やブースター接種の動きなどが、個人消費の回復期待につながり、超長期金利を除く金利上昇につながりました。月を通してみると、米国10年国債利回りは上昇しました。

米国ハイ・イールド社債のスプレッド(米国国債に対する上乘せ利回り)は前月末比で縮小しました。月間のリターンは13カ月ぶりにマイナスとなり、米10年国債や米国投資適格社債のリターンを下回りました。

(※文中の騰落率は現地通貨、現地月末最終営業日ベース、ICE BofA指数より各々算出後、小数点第3位で四捨五入し表示しています。)

### ◆今後の見通し

米国債券市場では、新型コロナの感染状況、早期量的緩和縮小への動きや債務上限問題などに注目が集まっています。早ければ11月にも資産買入縮小が決定されるとの観測が高まっています。一時的に引き上げられた債務上限問題も年末に向けては再び注目される要因です。物価も高止まり傾向であり、金利先高観につながっています。一方で、インフレ圧力が金融当局の見解のように一時的かどうかや消費に与える影響、成長の鈍化が早期利上げ観測の後退につながる可能性、地政学リスクなど不透明な要因も散見され始め、このような要因を背景に、今後、方向感が定まりにくい環境も想定され、動向を注視する必要があります。

米国では、量的緩和縮小の可能性が高まっている一方、インフレの急上昇は一時的とする金融当局の見解や債券の需給面など不透明な要因もみられます。新型コロナの感染状況は落ち着いてきており、消費回復期待の高まりにつながっていますが、依然として不確実性要因は残っており、ボラティリティの高まりにつながりやすい状況も想定されます。運用においてはこれまで通り、経済環境、デフォルト動向、市場の流動性、バリュエーションなどを十分に勘案した上で、個別企業の業績、財務状況を慎重に見極め、銘柄選別を行ってまいります。

※コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンドおよび指数等の動向と異なる場合があります。

※本資料においてグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。



## 月次運用レポート

# フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり)

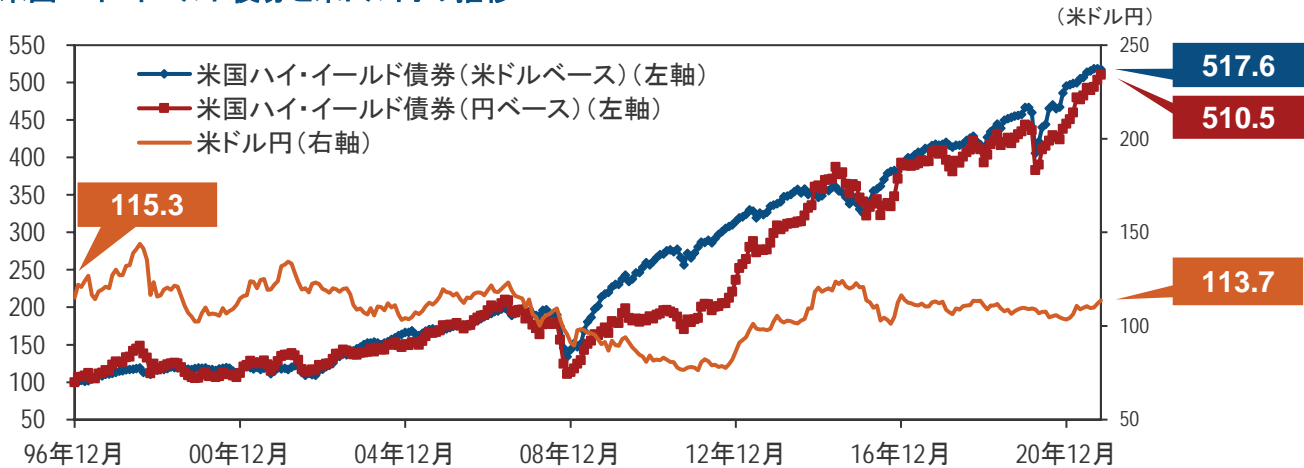
追加型投信／海外／債券

**Fidelity**  
INTERNATIONAL

2021年11月

## ■米国ハイ・イールド債券相場の長期動向

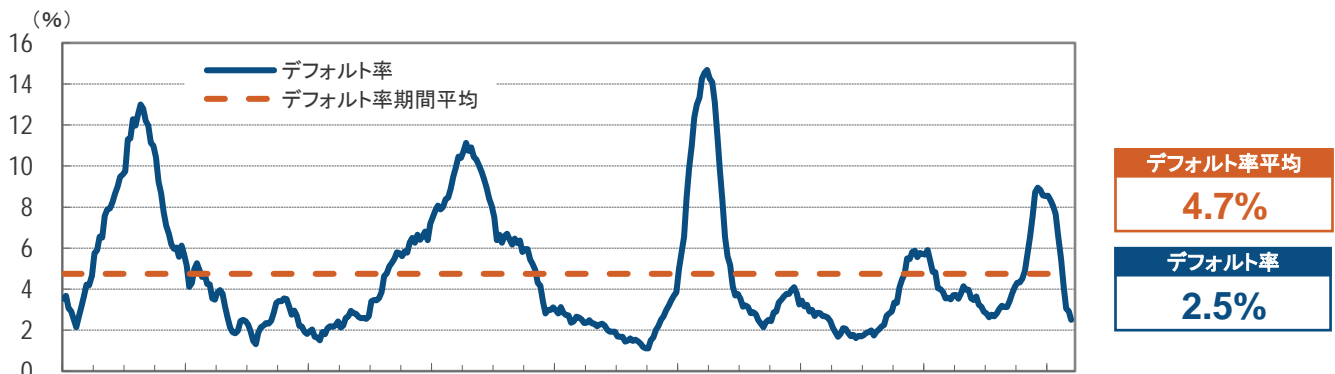
### ◆米国ハイ・イールド債券と米ドル円の推移



(注) RIMESなどよりフィデリティ投信作成。米国ハイ・イールド債券はICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス。米国ハイ・イールド債券は期間初を100として指数化。米ドル円は実数値。1996年12月末～2021年10月末。

## ■米国ハイ・イールド債券のデフォルト率、利回り等の長期動向

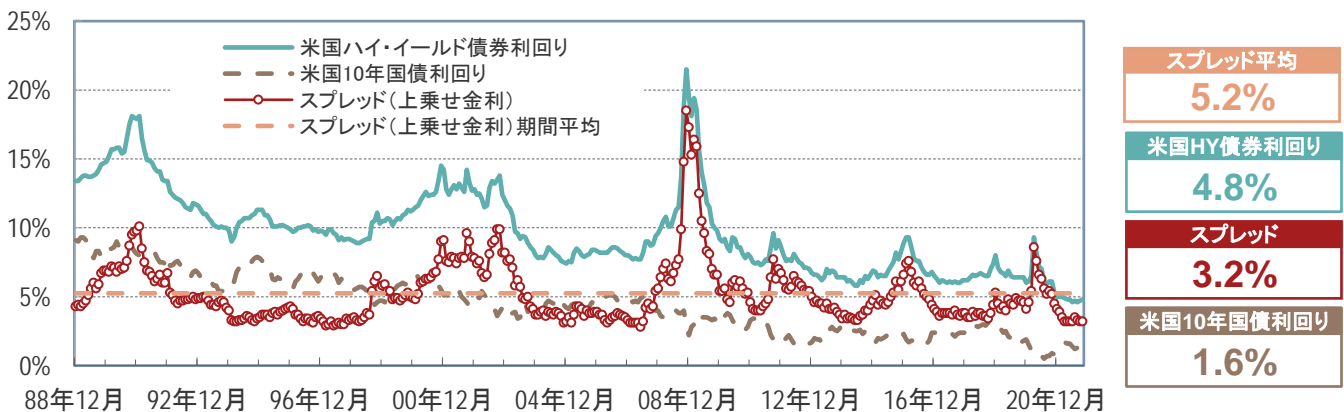
### ◆米国ハイ・イールド債券のデフォルト率の推移



88年12月 92年12月 96年12月 00年12月 04年12月 08年12月 12年12月 16年12月 20年12月

(注) Moody'sよりフィデリティ投信作成。1988年12月末～2021年9月末。過去12カ月、発行体ベース。

### ◆米国ハイ・イールド債券の利回り等の推移



88年12月 92年12月 96年12月 00年12月 04年12月 08年12月 12年12月 16年12月 20年12月

(注) RIMESよりフィデリティ投信作成。1988年12月末～2021年10月末。米国ハイ・イールド債券は1996年11月以前はICE BofA USハイ・イールド・インデックス。それ以降はICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス。スプレッド(上乗せ金利)は、小数点以下第2位で四捨五入した米国ハイ・イールド債券と米国10年国債の利回りの差。

※上記は過去の実績であり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。



## 収益分配金に関する留意事項

- 1 ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、それぞれの投資者ご自身の個別元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 2 分配金は預貯金の利息とは異なり、分配金支払い後の純資産は減少し、基準価額の下落要因となります。
- 3 分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります、その場合当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落します。

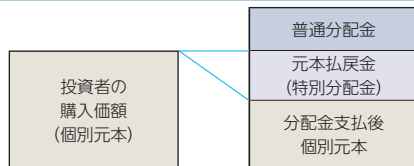
分配方針や頻度の異なるコースが存在する場合は、投資者は自身の選択に応じて投資するコースを選択することができます。販売会社によってはコース間でスイッチングが可能です。

- 1 投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

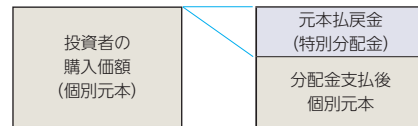
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

ファンドの購入価額は、個々の投資者によって異なりますので、投資期間全体での損益は、個々の投資者によって異なります。

分配金の一部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



- 「個別元本」とは、追加型投資信託の収益分配金や解約(償還)時の収益に対する課税計算をする際に用いる個々の投資者のファンドの購入価額のことを指します。
- 「普通分配金」とは、個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
- 「元本払戻金(特別分配金)」とは、個別元本を下回る部分からの分配金です。実質的に元本の払戻しに相当するため、非課税扱いとなります。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

- 2 分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

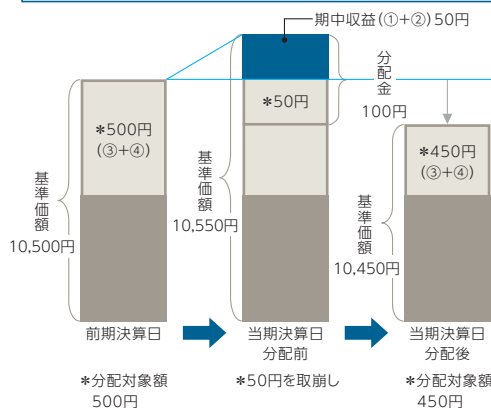
投資信託で  
分配金が支払われる  
イメージ



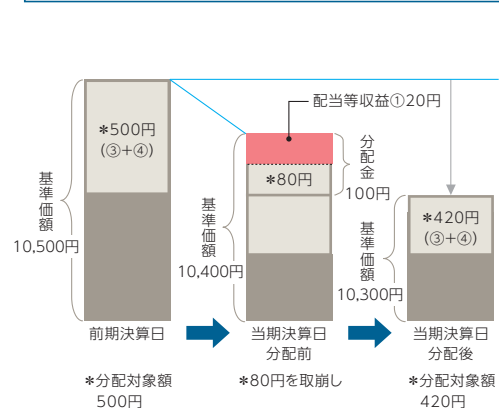
- 3 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。

投資信託は、当期の収益の他に、ファンドの設定から当期以前の期間に発生して分配されなかった過去の収益の繰越分等からも分配することができます。

前期決算から基準価額が上昇  
当期計算期間の収益がプラスの場合



前期決算から基準価額が下落  
当期計算期間の収益がマイナスの場合



※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

# フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券

## ファンドの特色

- 1 米ドル建て高利回り事業債(以下「ハイ・イールド・ボンド」といいます。)を中心に分散投資を行ない、高水準の利息等の収入を確保するとともに、値上り益の追求を目指します。
- 2 格付けに関しては、主に、Ba格(ムーディーズ社)以下またはBB格(S&P社)以下の格付けの事業債に投資を行ない、一部、格付けを持たない債券や、米国以外の国の発行体の高利回り事業債を組入れることもあります。
- 3 銘柄選択に関しては、個別企業分析により判断します。
- 4 個別企業分析にあたっては、アナリストによる独自の企業調査情報を活用し、個別の企業の信用分析と現地のポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行ないます。
- 5 高利回り事業債の組入率は原則として高位を維持します。
- 6 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。
- 7 「ファミリーファンド方式」\*による運用を行ないます。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。

\*ファンドは「フィデリティ・USハイ・イールド・マザーファンド」を通じて投資を行ないます。上記はファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色および投資方針を含みます。

### [運用の委託先]

マザーファンドの運用にあたっては、FIAM LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

委託先名称	委託する業務の内容
FIAM LLC(所在地:米国)	委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用の指図を行ないます。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

ファンドが有する主なリスク等(ファンドが主に投資を行なうマザーファンドが有するリスク等を含みます。)は以下の通りです。

### 主な変動要因

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
信用リスク	有価証券等への投資にあたっては、発行体において利払いや償還金の支払いが遅延したり、債務が履行されない場合があります。なお、ハイ・イールド債およびエマージング・マーケット債に投資を行なう場合には、上位に格付された債券に比べて前述のリスクが高くなります。
金利変動リスク	公社債等は、金利の変動を受けて価格が変動します。一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、金利が低下した場合には債券価格は上昇します。
為替変動リスク	為替ヘッジを行なうことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際には当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

クーリング・オフ	ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
エマージング市場に関わる留意点	エマージング市場(新興諸国市場)への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

# フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券

## お申込みメモ

商品の内容やお申込みの詳細についての照会先	委託会社	フィデリティ投信株式会社
	インターネットホームページ	<a href="https://www.fidelity.co.jp/">https://www.fidelity.co.jp/</a>
	フリーコール	0120-00-8051 (受付時間: 営業日の午前9時～午後5時)
	上記または販売会社までお問い合わせください。	
購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
購入代金	販売会社が定める期日までに、お申込みの販売会社にお支払いください。	
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。	
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社が受けたものを、当日のお申込み受付分とします。	
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日においては、お申込みの受付は行ないません。	
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、1日1件5億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。	
信託期間	2017年11月24日(設定日)から2027年5月24日まで	
繰上償還	ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。	
決算日	原則、毎月22日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。	
ベンチマーク	ファンドにはベンチマークを設けません。	
収益分配	年12回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、「ジュニアNISA」の適用対象です。	

## ファンドの費用・税金

購入時手数料	<b>3.30%(税抜3.00%)を上限</b> として販売会社が定めます。 ※詳しくは、お申込みの販売会社にお問い合わせください。
換金時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 <b>年1.65%(税抜1.50%)</b> の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
その他費用・手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。
	法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(税込)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎年5月及び11月に到来する計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。
税金	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ファンドの費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



# フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／債券

## 委託会社、その他の関係法人

委託会社	フィデリティ投信株式会社【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号 【加入協会】一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会 信託財産の運用指図などを行ないます。
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社 信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。
運用の委託先	FIAM LLC(所在地:米国) 委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用の指図を行ないます。
販売会社	販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス: <a href="https://www.fidelity.co.jp/">https://www.fidelity.co.jp/</a> )をご参照または、フリーコール:0120-00-8051(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)までお問い合わせいただけます。 ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金の支払いなどを行ないます。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 「フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(為替ヘッジあり)」が投資を行なうマザーファンドは、主として米ドル建て高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を投資対象としていますが、株式を含むその他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドの基準価額は、組み入れた債券および株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、組み入れた債券および株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。特にハイ・イールド・ボンドについては上位に格付けされた債券に比べて、利払い・元本返済の不履行または遅延等のいわゆるデフォルト・リスクが高い傾向にあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<https://www.fidelity.co.jp/>)をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

SFD 210810-6

■フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり） 販売会社情報一覧(順不同)

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

\* 上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。  
販売会社によってお申込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

CSIS211001-17